

# 地域における

# 三重大大学の役割



三重大学三翼会館  
(1936年竣工、登録有形文化財)



## 三重大学は 地域社会の発展に貢献しています



### 高等教育機関として

「感じる力」「考える力」「生きる力」を躍動させる場として、社会の新しい進歩を促すと同時に、他者に対する寛容と奉仕の心を併せもった感性豊かな人材を育成しています。三重大学は、課題探求心、問題解決能力、研究能力を育てるとともに、学際的・独創的・総合的視野をもち、国際的にも活躍できる人材を育成しています。



### 学術・文化の拠点として

三重大学が保有する学術資料の公開・展示、シンポジウム等の開催や県内の図書館等関連諸団体への学術情報の提供を行っています。また、地域の学術情報の拠点として、三重県と連携して伊勢～斎宮地域の歴史や文化についてのデジタルアーカイブ化に着手。今後、三重県全域に範囲を拡大する予定です。

### 三重県で唯一の特定機能病院として

- 高度先端医療を実践しています。
  - 高度先端医療に関する研究・開発・評価・研修を行っています。
  - 県内の関連病院との連携において中心的役割を果たしています。
- 【 外来患者数 / 1日平均1,146人 】  
現在、よりよい医療を実践するために大規模な再開発を進めています。



### 地震、防災研究の拠点として

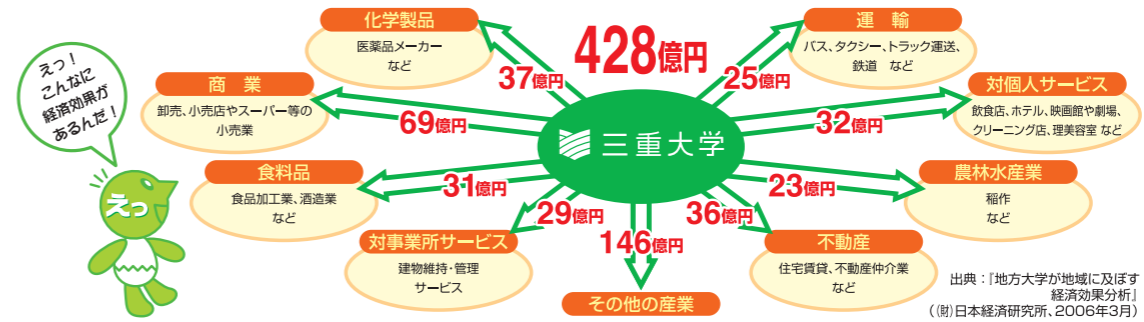
2005年12月、三重県と「災害対策相互協力協定」を締結しました。  
(全国でも珍しい、県と国立大学法人の協定締結)



### 地域政策との協働や地域特有の問題の研究

みえメディカルバレープロジェクトやディスプレイ産業、環境・自然エネルギー産業など、技術研究が産業へ社会へと展開しています。また、17年度の共同研究の約52%を県内企業が占めています。このほか、英虞湾浄化、干潟の造成、アマモ場の造成や地域医療の研究、東紀州文化研究などこの地域特有の自然や歴史文化など、地域との強い接着力を持ち続けています。

### 地域に与える経済効果



## 三重大学の プロフィール

【URL】  
<http://www.mie-u.ac.jp/basic/>

### ●設立●

三重大学は、旧制の三重師範学校、三重青年師範学校および三重農林専門学校を母体とし、昭和24年5月31日新制大学として誕生(学芸学部、農学部の2学部)  
昭和41年 学芸学部を教育学部に名称変更  
昭和44年 工学部を新設  
昭和47年 三重県立大学が国移管され、医学部、水産学部を増設  
昭和58年 人文学部を新設  
昭和62年 農学部と水産学部を統合・改組して生物資源学部を設置  
平成16年4月1日 国立大学法人に移行  
現在、5学部を擁する総合大学

### ●広さ●

5つの学部と病院が同じ敷地内(527,185m<sup>2</sup>)にあります。また農場、演習林、水産実験所、実習船基地や附属学校を含めると敷地面積は、5,490,451m<sup>2</sup>となります。

### ●規模●

- ・人文学部 附帯施設農場
- ・教育学部 附帯施設演習林
- ・医学部 水産実験所
- ・工学部 実習船基地
- ・生物資源学部 附属学校
- ・附属病院 練習船勢水丸(国立大学でも珍しい)

◎学生数  
学部 / 6,212名  
(男3,771名・女2,441名)  
大学院 / 1,182名  
(男890名・女292名)  
専攻科 / 15名  
(男3名・女12名)

(外国人留学生(内数)  
学部 / 69名  
(男38名・女31名)  
大学院 / 124名  
(男73名・女51名))

附属学校生徒等 / 1,363名

◎教員数 / 732名  
(教授248名・准教授224名・講師74名・助教186名)

◎卒業生 / 57,394名

(2007年5月1日現在)



# 地域の“知”として

三重大学では、毎年300近いシンポジウムやフォーラム、講座を開催しています。また、地域の方々と共に地域特有の問題や文化についての調査研究を行っています。

各地域にある大学の窓

- 四日市フロント
- 知の支援センター
- 2008年中設置予定 伊賀拠点
- 伊勢湾・熊野地域研究センター 分室
- 東京オフィス

小・中学生700名に調査。生活リズムが整っていると、頭も冴え、何事にも前向きで明るい。体も心も元気。

家族で早寝早起き 朝ご飯を実行しよう!!



中西良文准教授(教育) & 四日市市、四日市市教育委員会

津波避難訓練



東海・東南海・南海地震シンポジウム

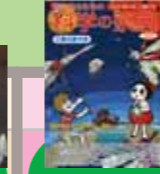
スギノアカネトラカミキリムシによる 損傷木材(あかね材)を 科学的に5段階に分けて利用。

需要が停滞していた あかね材の 市場拡大の期待!!



徳田迪夫教授(生物資源) & 松阪地区木材協同組合

酒作り



青少年のための 科学の祭典

出前授業

小林理事(情報・国際交流担当)・副学長

高齢者は、 転倒骨折が要介護に なるケースが大半です。 運動の正しいやり方を 学習しましょう。そして、 毎日、家で体操を行う ことが大事!!

転倒骨折予防教室 開催!!



後藤洋子教授(教育) & 津市



リーディング 産業展

フレンドシップ コンサート



モーツァルト レクチャー コンサート



奥村理事(研究担当)・副学長

三重大学が地域で開催しているいろんな事を ほんの少し紹介しま〜す。(2006年〜2007年の中より)

さあ、僕たちと一緒に頑張ろう!

三重大学文化フォーラム

志摩市 朝日町 伊賀市



三浦理事(総務・財務担当)・副学長

学術講演会・シンポジウム・フォーラム

フォーラム・オン・キャンパス

たのしい 仮説実験講座



外国人教員・留学生と学ぶ 国際理解

三重大学は、 地域に根ざした、 様々な活動を 展開しています。



豊田学長

スーパーサイエンスハイスクール

?発見塾 (津市民文化祭)

法則カフェ

一日体験入学

みえアカデミック セミナー 三重大学



みえアカデミック セミナー 移動講座



医学部 公開講座

参加型教育の 発想と手法



グルメディカル ツアー



紀南地域で 子育て継続ケアサポート ~生まれる前から小学校卒業まで~



足立 基准教授(医) & 紀南地域母子保健医療推進協議会

国際環境シンポジウム 「四日市学」

人文学部公開ゼミ

ドイツ語市民講座

産の岩ガキを 内宮に奉納



三重ブランドチャレンジャー & 三重ブランドチャレンジャー

南伊勢町の「旬」が 並ぶアンテナショップを 東京・葛飾区に出店



渡邊 明教授(人文) & (財)地域総合整備財団 <ふるさと財団>

理科教室 免許法認定 公開講座

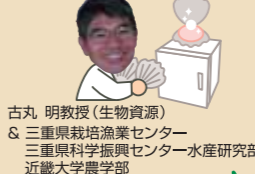
シンポジウム ワークショップ in須賀利

伊賀上野城下町の 景観計画づくり!!



浅野 聡准教授(工学) & 伊賀市

死亡率が低く、優れた 真珠を作るアコヤガイの 精子凍結保存に成功!!



古丸 明教授(生物資源) & 三重県栽培漁業センター 三重県科学振興センター水産研究部 近畿大学農学部



高大連携 サマーセミナー

パンゲア アクティビティ



四日市 市民大学

桑名市民講座

一身田校区 カルチャースクール

親子(母子)手帳を 新しくし、医療機関、市町、 大学、学校が一体となって 子育てを応援します。

神宮林から染み出す 雨水が矢湾に流れ込み、 良質な岩ガキが生育。

TBS系列・生活情報番組 「はなまるマーケット」で 紹介されました。

天神祭の舞台である 城下町の町並みを 守り・育てます。

赤潮・酸欠等で 大量にアコヤガイが死亡しても、 液体窒素で凍結しておいた 精子から新たに優れた貝が 育てられるよ。

健康に音楽に スポーツに... 大学って「知」の 宝庫だね